

我が家の宝物



「光姫ちゃん可愛い♡」
「早姫お姉たん好き好き♡」
藤原 光姫ちゃん・早姫ちゃん
H15. 5. 7生・H11. 9. 17生 (美の浜)



「我が家のかわいい
*ピカピカ*隊です！」
浅野 健太くん・加寿也くん
H6. 11. 3生・H9. 4. 23生 (一番町)



「何を真剣に見つめているのかな？
今年の秋にはお兄ちゃんになる慶音くん
楽しみだね♡」
伊藤 慶音ちゃん (小平井)
H14. 7. 16生



「菜の花がきれいだ ワン！」
若田 健 ちゃん (6歳 柴犬)
文太ちゃん (2歳 M・ダックス)
若田恵美子さん (三番町)



「妹の初節句にお兄ちゃんも大喜び！
いつまでも仲良く元気でね」
生宗 新大ちゃん
杏 ちゃん (笠岡)
H13. 1. 14生・H15. 3. 21生

「宝物」はその人にとって、かけがえのない人(子ども)であったり、可愛いペットであったり、他人には思いもつかない「物」であったりすると思います。そんな宝物の写真を一言メッセージを添えて、まちづくり推進課まで送ってください。

展覧会のご案内

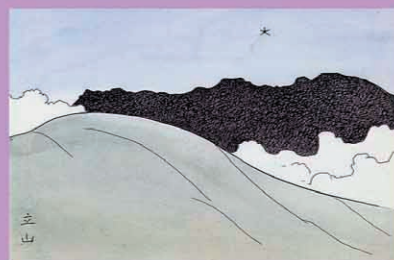
特別展「佐伯祐三と同時代の画家たち
-和歌山県立近代美術館所蔵品による-」
6月12日(土)~7月19日(祝)

7月1日(木)より、市内在住及び市内へ通学の小・中学生は入館料が無料になりました。これを機に竹喬美術館へ足を運んでみてはいかがでしょうか。



〒714-0087
笠岡市六番町1-17
Tel.63-3967
ホームページ
<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/0013/0001.html>

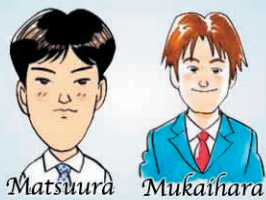
「七月にはいと山への誘いが始まる。心臓の弱い私は、山登りが苦手でもつぱら遠望というところであるが、近ごろは車で頂上近くまで行けることもできた。まず近くで京の山々、箱根から北上して立山へ、南下して噴煙の阿蘇へとスケッチブックのなかを回ってみた。」
『天皇の世紀』の挿画は基本的に一シリーズ六枚をひとくくりとして描かれている。この作品を含むシリーズは、早朝の比叡山、大文字のあとが見える朝の東山、快晴の箱根駒ヶ岳、芦ノ湖におちる午後の山影というように、各地の山が時間を追って描かれており、「立山」は一番星が輝く夕暮れの景色となっている。
竹喬は昭和三十一年の八月中旬に立山を訪れているので、これはその折のスケッチをもとに描かれたものであろう。十年以上を経ているが、薄い藍色に暮れてゆく空や影になった山の尾根など、辺りの空気までもがそのまま再現されているかのようである。



「立山」

小野竹喬 作
朝日新聞「天皇の世紀」挿画
昭和44年7月18日掲載
15.1×23.0cm

竹喬美術館の光彩 19



発行日/平成16年7月1日
発行/笠岡市役所
編集/まちづくり推進課
〒714-8601 笠岡市中央町1-1
Tel.69-2110

うつつしい梅雨ともも少しでお別れ(の予定)。昨年は冷夏でしたが、今年の夏は長期予報によると平年並みの暑い夏になるそうです。
夏といえば海水浴です。最近では車で行ける海水浴場が人気なのですが、取材などでよくちよく笠岡諸島を訪れる私からすると、島の海水浴場は最高だと思えます。まず、海の透明度が違います。海の底までが見える海水浴場は陸地部では考えられません。もう一つは、時間の経つ早さです。島の時間はゆったりとながれ、仕事などで時間に追われている人が訪れるときと癒されます。
今年の夏は、いつもとは違った体験をしに笠岡諸島で海水浴を楽しんでみてはいかがでしょうか。(松)

係から

台風の影響で開催が心配された六月二十日、金浦湾において源平合戦に由来し、紅白二隻の和船が速さを競う「おしぐらんご」が開催されました。今年も、初めて金浦小学校の児童も漕ぎ手役などで参加し、五月から練習した成果を発揮しました。金浦小四年の塩飽 梓さんは、「櫓が重かった。だけど来年も漕いでみたい。」と話してくれました。

今月の表紙

印刷所/株式会社 正文社印刷所 ☎66-1687

笠岡市ホームページ: <http://www.city.kasaoka.okayama.jp>
メールアドレス: kouhou@city.kasaoka.okayama.jp



※この広報は再生紙を使用し地球環境にやさしい植物性大豆インキで印刷しています。

100 古紙配合率100%の再生紙を使用しています